

発刊八〇年

語りと講話

高村光太郎作

智恵子抄

語り 北原久仁香
講話 小山 弘明 (高村光太郎連翹忌運営委員会代表)

れんぎょうき

ふたりが芸術とともに暮らした地で、
詩を語り、作品や二人のエピソード等をお話します。
智恵子の命日(レモン忌(十月五日))を前に、
高村家のお隣、旧安田邸でお楽しみください。



駒込林町アトリエにて 大正14年(1925)頃

2021年

9月26日(日)

新型コロナウイルス感染症の状況により、急遽、中止する可能性があります。
入場の際は、マスクの着用、検温、手指の消毒にご協力ください。
37.5度以上の発熱のある方は入場できません。

13時・16時 (各30分前開場、上演は1時間40分程) 開場前のご来場、開演以降のご入場はご遠慮ください。

料金

一般 3000円 JNT会員 2500円 中高生 1700円

維持修復協力金を含む

お支払いは現金のみで対応します。お釣りが出ないようにご注意ください。

お申込 各回定員25名・要予約

✉ yasudatei@yanesen.org

☎ 03(3822)2699

電話予約は通常公開日(水・土)の10~16時

希望回、ご予約全員のお名前・連絡先をお伝えください。

キャンセルの場合は早めにご連絡ください。

当日キャンセルは料金が発生します。



東京都指定名勝

旧安田楠雄邸庭園

東京都文京区千駄木 5-20-18

<http://tatemono-ouendan.org/>

*通常公開日は、水・土曜10:30~16:00(入場15時まで)
入館料(維持修復協力金) ¥500等

*建物保全のため、靴下の着用と大きな荷物、リュックサックの
お預かりをお願いしています



JR 山手線 日暮里駅・西日暮里駅 徒歩 15分

東京メトロ千代田線 千駄木駅 徒歩 7分(エレベーター口が便利です)

文京区コミュニティバスB-ぐる18番「特養ホーム千駄木の郷」 徒歩 1分

台東区循環バスめぐりん「千駄木駅」 徒歩 7分

都営バス 上58・草63「団子坂下」 徒歩 7分

主催 公益財団法人日本ナショナルトラスト、たてもの応援団

協力 旧安田邸サポート倶楽部、かたりと

資料提供 二本松市教育委員会、(公財)花巻高村光太郎記念会

智恵子遺作 切抜絵数種恵存
 気ちがいといふおとろしき
 ことばもて
 ひとは智恵子を
 よばむとすらむ 光太郎

（「気ちがい」という恐ろしい言葉を使って
 人は智恵子と呼ばうとしている）
 「智恵子抄 うた六首」より



（公財）花巻高村光太郎記念会 提供

智恵子の紙絵に光太郎自身が短歌を添えた作品。光太郎の花巻疎開に尽力し、昭和20年（1945）、旧太田村へうつる直前の光太郎を約一ヶ月、自宅離れに住ませた花巻病院長・佐藤隆房旧蔵。



大正期における新旧の技術を巧みに取り入れた、築100年の近代和風建築と庭園。豊島園の創始者である実業家、藤田好三郎によって、1919～20年に造られた。関東大震災後、安田善四郎が買い取り、平成まで住み継がれる。震災、戦災を免れ、創建当初からほぼ改造されることなく、今日まで良好な姿を伝える。1995年、当主の安田楠雄氏が他界した後、夫人により公益財団法人日本ナショナルトラスト（JNT）に寄贈され、現在に至る。



高村光太郎連翹忌運営委員会
 代表 小山 弘明



北原久仁香

千葉県香取市出身、在住。
 晩年の高村光太郎に親炙した故・北川太一氏の薫陶を受け、光太郎顕彰活動に専念するため、2012年、公立中学校教諭を早期退職。以後、原稿執筆、各種市民講座等講師、全国の文学館・美術館アドバイザー、企画展示監修、テレビ番組制作協力等を行っている。著書に『巨星高村光太郎』（秋桜社）、共著に『十和田湖乙女の像のものがたり』（十和田湖奥入瀬観光ボランティアの会）等がある。

ナレーター、語り手。
 『智恵子抄』をきっかけに二人への共感を深める。花巻、二本松、九十九里浜、犬伏崎など縁の地を取材し、小山氏の講演に参加。
 本来、『智恵子抄』は作者の声で聴くのが理想だが、光太郎智恵子、ご覧下さる方々、関係者への感謝と共に、作品から響く真実を表現すべく、舞台上に臨む。

公益財団法人

日本ナショナルトラスト（JNT）

<http://www.national-trust.or.jp/>

日本のすぐれた文化財や自然の風景地などを保全し、利活用しながら次の世代につなげていくことを目的に活動。地域の大切な資源である文化・自然遺産を「守る」「伝える」「つなぐ」という活動を通じて、国民の生活の文化的向上と地域振興に貢献する。その活動は、会員・ボランティアをはじめとした方々のご支援により行われている。またJNTへの寄付は、税制上の優遇が受けられる場合がある。



特定非営利活動法人 文京歴史的建物の活用を考える会

たてもの応援団

<https://tatemono-ouendan.org/>

1996年、安田邸の保存を願う市民が活動継続のために発足。調査、保存の提案、お掃除ボランティア、見学会などを実施。土地450坪と建物は「たてもの応援団」の提案が実り、公益財団法人日本ナショナルトラストに寄贈された。現在、旧安田楠雄邸庭園では建物の保存から活用まで、実践中！週2回の一般公開は雨戸開け、掃除、受付、ガイドなど、旧安田邸サポート倶楽部のボランティアが行う。

